

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870700147
法人名	株式会社 新風会
事業所名	グループホーム 銀河
所在地	愛媛県大洲市徳森 1477番地 1
自己評価作成日	平成 23年 9月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年10月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

代表者がドクターの為、看取りまでのケアを取り組みやすい。 利用者様の笑顔作り、笑いの場を提供している。 家族様との交流 書類の統一
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設12年を超える事業所で、長期の利用者が多く年齢や介護度も高くなっているものの、利用者は明るく笑顔でゆったりと生活されている。法人代表が在宅医療に取組み事業所でもターミナルケアを実践しており、利用者一人ひとりに真摯に向き合いながら終末ケアに取り組んでいる。利用者の好きなことを自由にしてもらえるよう職員全員で話し合いながら、利用者本位のケアを実践している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 銀河

(ユニット名) 第一ユニット 5F

記入者(管理者)

氏 名 祖母井 知子

評価完了日 平成 23 年 9 月 1 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 取り組んでいるが、共有、実践は達成できていない。 (外部評価) 管理者は、利用者の命を預かっていることを意識しながら、職員と共に日々のケアに努めている。また、理念に基づいた目標を立て具体的に実践し取り組んでいる。カンファレンス等で振り返りを行い、取り組みの状況を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ビル型のホームである為になかなか出来ていない。 (地域行事の参加) ホームでの新聞を回覧板に載せている。 地区の清掃、保育園児、小学生との交流がある。 (外部評価) 事業所は民家から離れているうえに、ビルの3階と5階にあるため日常的に近所付き合いをすることは難しいが、地域の行事には積極的に出かけたり、事業所内のホールを地域との交流の場とする等、事業所独自の工夫をしている。	管理者は公民館や小学校等に積極的に働きかけ、事業所独自の地域交流を行っている。さらに活発な交流がされるよう今後の取組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ホームでの新聞は、回覧板で回しているが、地域貢献は出来ていない。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 業務カンファレンスにて、運営推進会議で話し合った 意見や要望を報告し、話し合いの場を設けている。	
			(外部評価) 運営推進会議の内容によって、民生委員や教育関係 者、地区役員等に参加してもらっている。消防団や交 番等にも参加してもらえるよう考えており、利用者の サービス向上に直結できる会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議や市のサービス担当者会議にて情報交換 をしたり、説明を受けている。 介護相談員さんに来所して頂いている。	
			(外部評価) 市の担当者は運営推進会議にも参加し、相談や助言を してくれている。サービス担当者会議等の機会を利用 し、意見交換をする等、十分な連携体制が構築されて いる。	市の担当者だけでなく地域包括支援センターの職員と の関わりを深めることにより、地域の社会資源等の情 報を得ることができ、サービスの向上につながるの で、運営推進会議に参加してもらおう等の検討を望みた い。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全職員が話し合い、出来る限り拘束をしないように取 組んでいるが、知識や理解が少ない為、今後知識と 理解をしていく必要がある。	
			(外部評価) 新人職員が入るたびに、身体拘束についての研修を行 い、身体拘束ゼロのケアに取り組んでいる。運営法人 の研修でも身体拘束については取り上げており、事業 所だけでなく法人全体で取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を開き、スタッフ間で注意しあい、虐待防止を徹底し、行っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 理解出来ていない為、研修会・勉強会に参加し、活用できるようにする。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に見学して頂き説明を行っている。 契約時にも十分な説明を行い、理解・納得が得られるようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置している。 面会時など家族さんに、何か要望などがあれば聞き対応をしている。 (外部評価) 管理者を中心に、家族等との話し合いが積極的に行われ、意見や要望を出してもらえよう雰囲気づくりに取り組んでいる。また、利用者からの意見等は、日々の生活の中で随時聞き取っており、出された意見については必要に応じて話し合いがされている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ホーム長会議での内容を業務カンファレンスで報告している。又、職員の意見を聞き、ホーム長会議時に取り上げているが、代表者まで届かず反映されていない。 (外部評価) 新任職員、中堅職員、ベテラン職員とバランス良く職員の構成がされており、新任職員からの意見も管理者が聞き取っている。管理者は職員からの意見を法人のホーム長会議で伝える等している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給与水準・労働時間など条件が悪い。管理者までは分かっていたらいて向上心は持っていない。代表者までは伝わっていない。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 会社全体での勉強会や研修会を開き、スキル向上に向けて知識を身に付けている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 一部の同業者としか交流・情報交換が出来ていない。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前に事前調査を行い、情報を集め入居時に孤立しないように努めている。 職員全員で話し合い関係作りに努めている。 日々のコミュニケーションにて傾聴している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査時に分からなかった情報を面会時や電話にて聞き、要望を取り入れている。又、日々の利用者様の状態を報告している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族様の要望をもとに必要としている事の支援を行っている。 他のサービス利用は行えていない。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員と利用者は一緒に過ごす事によって支え合い、利用者様から学ぶ事等の関係作りを大切にしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族様からの一方的な要望に対して困る事がある。 信頼関係を密にし、出来るだけ要望を取り入れている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) コミュニケーションにて昔の話を聞き、利用者様のはいけいを知り、断ち切らないような支援を心がけている。 (外部評価) ホームの立地からは、利用者の馴染みの場所等に気軽に出かける事は難しいが、病院受診等の機会を上手く利用しながら思い出の風景を楽しんでもらえるよう努めている。また、職員は昔のことを積極的に聞き、利用者の思い出が失われないよう支援をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様の重度化により個別の支援が多くなっているが、利用者様の間に入りより良い関係が作れるよう支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 死亡による退居が多く、支援が努められていない。必要に応じて相談や今までの経過について説明を行っている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々会話の中で本人様の意向や思いの把握をし、ケアカン時に話し合いを行い、出来る限り一人一人の思いを尊重している。	
			(外部評価) 利用者の今を大切にするためには、どのように生きてきたかを理解することが重要であると、利用者や家族等から生活歴の聞き取りに力を入れている。また、職員間で共有することでケアの質向上に繋げようと、介護記録に記載したり、ミーティングなどで話し合いが行われている。	生活歴は随時記録しているが、介護記録に記載されているため、過去に聞き取った情報を確認することが難しい。また、職員の異動等もあり、職員間の情報量の差が生じていると思われるので、記録の方法を職員全員で検討するよう取組みに期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査時・契約時・面会時に家族の方に聞いたり、日々の会話の中で本人さんに聞き把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) アセスメントやケアチェックを行い、一人一人の一日の暮らしの流れにそって職員がしっかり観察し、情報把握に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスを実施し、意見交換や提案を行い、利用者様にあった介護計画を作成している。本人様や家族様の意見や要望が少ないため、介護職員の思いの介護計画になっている。 (外部評価) 介護計画は担当職員のモニタリングを元に、全員で評価や見直しを行っている。介護計画をいろいろな角度から検討しており、簡潔かつ具体的に立てられ新人職員でも把握しやすい。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に記録をしっかり記入し、きづいた事などをスタッフそれぞれが書けるノートやメモを貼っておきケアカンファレンスで話し合いや見直しに役立てている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人様や家族様の希望に応じた対応をしている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 重度化により、特定の利用者様のみの利用・参加になっている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 必要に応じてかかりつけ医・皮膚科・歯科などの受診・往診を行っている。 (外部評価) 法人代表が地域医療に貢献している医師であり、その実績に信頼を置いて事業所を利用する方も多く、法人代表が利用者全員のかかりつけ医となっている。また専門科の受診等、適切な医療が受けられるよう体制が整えられている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 日々の変化を医療連携ナースに報告し、適切な指示を頂き蜜に情報交換を行っている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院までの経過や生活の状況を情報提供し、退院時には、サマリーをもらっている。ドクター・ナースと連携し必要に応じて往診に来ていただき気をつけること等を助言をもらっている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 終末期に関する指針を定め契約時に説明を行っている。利用者様の状態の変化がある都度、家族様や本人様の希望に応じて対応をしている。地域の関係者とは出来ていない。 (外部評価) 利用者が希望する場合は、ターミナルケアを実践している。事業所の近くにかかりつけ医が住んでおり、連携体制が確立されているため利用者や家族は安心である。また、職員は真摯にターミナルケアに取り組み、利用者本位のケアが提供できるよう努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 普通救命講習を受講して応急時や緊急時の処置が出来るようにしている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 自主避難訓練を行い、マニュアルにそって動けるようにしている。 地域のかたと一緒に訓練を行った事がないので、今後取り組んでいきたい。 (外部評価) ビルの3階と5階にホームがあるため、災害対策には余念がなく、地域の消防団との協働関係が堅固にできている。日頃から危機意識をしっかりと持ち、災害対策を行っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者様を尊重し言葉かけに気をつけて接している。 (外部評価) 利用者への声かけは優しく丁寧で、利用者を敬う気持ちが感じられる。また、一人ひとりの人格を尊重したケアが提供されており、誇りやプライバシーを損ねないよう努められている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様のペースに合わせた対応を心がけている。重度化により働きかけを行っているが自己決定が出来ない為、職員が決めている事もある。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人様の希望にそった支援を心がけているが職員側の都合を優先している事がある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 出張美容に来ていただいている。 外出時は、おしゃれが出来るよう支援している。 普段は出来ていない事もある。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の片づけを利用者様と一緒にやっている。 出来る利用者様には手伝ってもらい、フロアで職員が間に入りサポートし、会話をしながらゆっくりと食事が出来ている。 (外部評価) 手づくりにこだわる等、食事に力を入れており、栄養を考慮した献立を考え、事業所で調理を行っている。 利用者の高齢化と重度化で手伝いをしてもらうことが難しくなっているが、それぞれの役割を果たしながら和やかな食事時間を過ごすことができています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分・食事チェックを行い、個々の摂取量を把握している。 体調や状況に応じて対応をしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけやスポンジでの口腔ケアを行い、うがい薬も使用している。 週に2回義歯の洗浄（ポリデント）を行い、出来ない時には、時間を置いて行っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターンを把握して、失敗を減らすようにしている。 定期的なトイレ・オムツの声かけを行い、失敗があってもさりげない声かけをし介助を行っている。	
			(外部評価) 利用者の高齢化や重度化が進む中、職員は利用者の排泄パターンを理解し声かけや誘導を適切に行い、自立に向けた支援を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取量を把握し、食事の工夫をしている。 医師の処方による薬で対応する事もある。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 時間帯は、午前中と決めている。 介助が必要となり入浴を楽しめてはいないと思う。	
			(外部評価) 「午後はゆっくりしたい」と利用者から要望があり、入浴は午前中に行われている。長期利用者が多いため、回数や順番等の好みも十分に把握されている。 ゆったりと気持ちよく入浴してもらえるよう支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 体調や個々に合わせて休息を取り入れている。 定期的に体位交換を行い、体位の工夫をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の説明や医師の指示により薬の用法に注意し、利用者様の体調管理に気をつけているが、副作用までは把握できていない。 介護記録に一人一人の薬の名前・量・どんな薬かを貼り付け誤薬のないよう細心の注意をしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) いろいろな行事を取り入れホーム内での活動だけではなく、外出する機会も作っている。 役割を持っていただき、出来る事をして頂いているが、出来る方が少ないため一部のかたしか出来ていない。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出には家族の協力が難しく、一人一人の希望に沿った支援はできていない。 (外部評価) 3階と5階が事業所となっているため、職員は意識して外出する機会をつくる努力をしている。受診の帰りに散歩する等、気分転換や生活のリズムを整えるための外出支援が行われている。	利用者の高齢化や重度化で外出の機会が少なくなっている。家族等の協力を依頼する等、利用者の外出の回数を増やす方法を検討し、外出支援がさらに行われるよう期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金の管理は、所持されている方がいないため全面的に職員が行っている。 買い物時には、職員が所持し、利用者様のレベルに合わせて支援を行っている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人様の希望時には、対応している。 年賀状を毎年書かれている方がおられるので、今後も継続していきたい。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) フロア内はスペースが狭く不便な事も多いが、出来るだけ居心地よく過ごしていただけるよう季節感がある壁画を掲示したり工夫をしている。 車椅子の移動に余裕のない場所や必要な場所に手すりがないところがある。 (外部評価) 既存のビルを利用者が落ち着いて利用できるよう改装してあり畳スペース等を設けている。大きな窓からは遠くの景色も一望でき開放感がある。事業所内は清潔に保たれ、ゆったりと過ごせる雰囲気づくりがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファに利用者様同士やスタッフが座り会話をしたり、くつろげるようにしている。 建物が狭く、二人部屋もある為、個別の空間は難しい。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人様のタンスや趣味のものを置いたり、写真や作品を飾り居心地よく過ごせるよう工夫をしている。 居室が狭いためあまり配慮が出来ない。 (外部評価) 事業所は高所階にあるため、窓からの眺めがよく四季折々の景色を楽しむことができる。使い慣れたものを持ち込み、居心地のいい居室を作り上げている。また、落ち着いて生活できるようプライバシーの配慮がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 自室の入り口には名前や写真を貼り、わかりやすいような工夫をしている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870700147
法人名	株式会社 新風会
事業所名	グループホーム 銀河
所在地	愛媛県大洲市徳森 1477番地 1
自己評価作成日	平成23年 9月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年10月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療連携を取っており、常に利用者様の健康管理に気を付けて対応しています。家族の方々に来て頂いて交流を行っており、変化がある時には連絡を密に取り信頼関係を築いています。季節感を味わっていただけるよう室内、食事などに気配りを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設12年を超える事業所で、長期の利用者が多く年齢や介護度も高くなっているものの、利用者は明るく笑顔でゆったりと生活されている。法人代表が在宅医療に取組み事業所でもターミナルケアを実践しており、利用者一人ひとりに真摯に向き合いながら終末ケアに取り組んでいる。利用者の好きなことを自由にしてもらえるよう職員全員で話し合いながら、利用者本位のケアを実践している。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します									
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と		
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと		
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと		
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない		
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように		
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度		
			3. たまにある				3. たまに		
			4. ほとんどない				4. ほとんどない		
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない		
			4. ほとんどいない				4. 全くいない		
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない		
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない		
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が						
			2. 利用者の2/3くらいが						
			3. 利用者の1/3くらいが						
			4. ほとんどいない						

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 銀河

(ユニット名) 第二 ユニット 3F

記入者(管理者)

氏 名 田渕 正子

評価完了日 23年 9月 1日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 銀河全体の理念、3Fの理念を職員で考え実践につなげている。 (外部評価) 管理者は、利用者の命を預かっていることを意識しながら、職員と共に日々のケアに努めている。また、理念に基づいた目標を立て具体的に実践し取り組んでいる。カンファレンス等で振り返りを行い、取り組みの状況を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の行事が分かるように回覧板を廻して頂き、地域の清掃に参加している。また、小学校の生徒さん達にボランティアにきていただいています。ただこちらから出かけていく事は難しくなり、来ていただけるようにしています。 (外部評価) 事業所は民家から離れているうえに、ビルの3階と5階にあるため日常的に近所付き合いをすることは難しいが、地域の行事には積極的に出かけたり、事業所内のホールを地域との交流の場とする等、事業所独自の工夫をしている。	管理者は公民館や小学校等に積極的に働きかけ、事業所独自の地域交流を行っている。さらに活発な交流がされるよう今後の取組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で地域の方に参加して頂き、施設のことや利用者様のことを理解してもらい色々な意見を交換している。また、意見を出していただき実践しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議のメンバーが増え、またH23年度より出席者の顔ぶれも変わり、いろいろな意見を出していただいています。スタッフも今まで2名でしたが3名出席しています。	
			(外部評価) 運営推進会議の内容によって、民生委員や教育関係者、地区役員等に参加してもらっている。消防団や交番等にも参加してもらえるよう考えており、利用者のサービス向上に直結できる会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市のサービス担当者会に出席していない。	
			(外部評価) 市の担当者は運営推進会議にも参加し、相談や助言をしてくれている。サービス担当者会議等の機会を利用し、意見交換をする等、十分な連携体制が構築されている。	市の担当者だけでなく地域包括支援センターの職員との関わりを深めることにより、地域の社会資源等の情報を得ることができ、サービスの向上につながるので、運営推進会議に参加してもらおう等の検討を望みたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の内容をよく知り、拘束をしないケアに取り組んでいます。 どうしても身体拘束をしないと命にかかわる場合には、十分な説明を行い同意をもらっており拘束しないですむようカンファレンスを行っています。	
			(外部評価) 新人職員が入るたびに、身体拘束についての研修を行い、身体拘束ゼロのケアに取り組んでいる。運営法人の研修でも身体拘束については取り上げており、事業所だけでなく法人全体で取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会で虐待について学び、何が虐待かを注意しながら防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 支援できるよう勉強会を行っている。 成年後見人制度を利用されている入居者様もいる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に説明を行い、同意を得ている。入居前に見学や訪問をして頂き理解を得ている。また、都度必要な場合は、改めて説明をしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議の家族様代表の方が出席されていて、意見を言ってもらったり面会に来られた時に家族の方に意見を聞いている。また、家族の方の要望などスタッフ全員がわかるようノートに記入している。介護相談員さんにも来て頂き、その時の様子をノートに記録していただいている。 (外部評価) 管理者を中心に、家族等との話し合いが積極的に行われ、意見や要望を出してもらえよう雰囲気づくりに取り組んでいる。また、利用者からの意見等は、日々の生活の中で随時聞き取っており、出された意見については必要に応じて話し合いがされている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務カンファレンスで意見を聞く機会を設けている。また、スタッフの要望があればホーム長会議など利用して会社全体で話しあえる様になっている。 (外部評価) 新任職員、中堅職員、ベテラン職員とバランス良く職員の構成がされており、新任職員からの意見も管理者が聞き取っている。管理者は職員からの意見を法人のホーム長会議で伝える等している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 向上心が持てるように、各自が担当や係りを持って日々働いている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 会社全体の研修会を設けたり、職員に応じた研修会の参加声かけをしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 副部長が1回/月 施設を訪問しスタッフの意見、ホーム内のきずいた点など助言してもらっている。同業者との交流はほとんどありません。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査を行い、前もって入居者様の情報を得て、信頼関係を作れるように努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ホームに来ていただき、ホーム内を見学していただき、家族様の要望を聞きケアプランを立てています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ケアプランを作成しています。 入居された時、できる事、できない事、気づいた点など記録して全員が把握できるようにしています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様のこれまでの生活、ホームでどのように生活していきたいのかを全員では把握し、ケアカンファレンスにて話し合います。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時に利用者様の様子をお伝えしています。場合によっては、会議・記録を見ていただき印鑑をもらっています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会、外出など自由にできるようにしている。急な外出などの時でも、体調が良ければ外出していただけるようにしている。 (外部評価) ホームの立地からは、利用者の馴染みの場所等に気軽に出かける事は難しいが、病院受診等の機会を上手く利用しながら思い出の風景を楽しんでもらえるよう努めている。また、職員は昔のことを積極的に聞き、利用者の思い出が失われないよう支援をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 自室にて1人ですごされる方はなく、昼間はほとんど全員の方がフロアーにて過ごされています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方との関係は、少ないです。 私達の方よりうかがう事はなく、御家族様の方が尋ねて来て頂く事はあります。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 自分でできることはしてもらっています。 本人の意向を把握に努めていますが、なかなか思うように外に出かける事はできません。	
			(外部評価) 利用者の今を大切にするためには、どのように生きてきたかを理解することが重要であると、利用者や家族等から生活歴の聞き取りに力を入れている。また、職員間で共有することでケアの質向上に繋げようと、介護記録に記載したり、ミーティングなどで話し合いが行われている。	生活歴は随時記録しているが、介護記録に記載されているため、過去に聞き取った情報を確認することが難しい。また、職員の異動等もあり、職員間の情報量の差が生じていると思われるので、記録の方法を職員全員で検討するよう取組みに期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査に行っています。 面会に来られた方々にお話を伺うようにしています。 また必要に応じてこちらからTELしてうかがう事もあります。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者のできる事できない事を日々観察して把握に努めている。記録や日誌に目を通して分かるようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価) ケアプランを作成して、家族の方や面会の方々にもわ かるよう貼り出しています。また、家族様の要望を記 入していただけるよう準備してしています。 (外部評価) 介護計画は担当職員のモニタリングを元に、全員で評 価や見直しを行っている。介護計画をいろいろな角度 から検討しており、簡潔かつ具体的に立てられ新人職 員でも把握しやすい。	介護目標を数値で表すことにより、利用者や職員が達 成感を感じることができ意欲向上にもつながることか ら、介護計画や介護目標を意識した介護記録の記載方 法を検討するよう今後の取組みに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) 個別に記録している。ケアカンファレンスで話し合 い、計画の見直しに活用している。 特変時、3ヶ月、6ヶ月に見直しを行っている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化 本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	(自己評価) 本人、家族の状況に対して柔軟な支援、サービスを行 い希望にそえるようにしている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) ボランティア、ヘアーカット、医院、学校関係の力を 借りた取り組みを行っています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 開設者が主治医であり安心して医療が受けられる。定 期的な医師、看護師の往診を受けている。緊急時の対 応も出来るようになっている。家族の希望もきけてい ます。 (外部評価) 法人代表が地域医療に貢献している医師であり、その 実績に信頼を置いて事業所を利用する方も多く、法人 代表が利用者全員のかかりつけ医となっている。また 専門科の受診等、適切な医療が受けられるよう体制が 整えられている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 週1回、診療所ナース往診に来られています。月2回ド クター往診に来て頂いています。変化があった場合 は、TELにて連絡し受診しています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院、退院時の指示を受けています。 情報提供を行っています。 また、お見舞いに行ったり家族さんとの連絡。 入院中の支援など密に行っています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重症化した場合、医師の診察、家族様の希望、本人の 希望に添えるように都度話し合っている。都度ケアカ ンファレンスを行っています。また、プランの見直し を行います。契約時にも終末期に関する指針を説明し てますが、再度確認します。 (外部評価) 利用者が希望する場合は、ターミナルケアを実践して いる。事業所の近くにかかりつけ医が住んでおり、連 携体制が確立されているため利用者や家族は安心であ る。また、職員は真摯にターミナルケアに取り組み、利 用者本位のケアが提供できるよう努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救命講習を定期的に行い対応出来るようにしている。 会社全体で行っています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 各自が災害等のマニュアルを把握している。又、災害に備え毛布、タオル、オムツ、着替えなど準備しています (外部評価) ビルの3階と5階にホームがあるため、災害対策には余念がなく、地域の消防団との協働関係が堅固にできている。日頃から危機意識をしっかりと持ち、災害対策を行っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者様への声かけにて、安全な動作になるように気をつけ、人権を尊重して対応している。利用者を名前で呼ばず、名字で呼んでいます。トイレの入り口より手前にカーテンをつけました。 (外部評価) 利用者への声かけは優しく丁寧で、利用者を敬う気持ちが感じられる。また、一人ひとりの人格を尊重したケアが提供されており、誇りやプライバシーを損ねないよう努められている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 何事も自分で決定出来るような声かけを行うように努めている。出来ない事は、少しのヒントを与えて助けてあげる事もある。 短い言葉かけをしています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者のペースに合わせて、又、利用者の体調なども考えて支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 季節にあった服を着てもらっている。又、2ヶ月に1回ヘアカットも行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の出来ること、得意な事はして頂きながら一緒に行っている。 食事が楽しみなものになっています。 (外部評価) 手づくりにこだわる等、食事に力を入れており、栄養を考慮した献立を考え、事業所で調理を行っている。利用者の高齢化と重度化で手伝いをしてもらうことが難しくなっているが、それぞれの役割を果たしながら和やかな食事時間を過ごすことができている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事、水分摂取量を記録し把握出来るようにしている。 一人一人に合った食事作りを行っています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の声かけ、誘導、介助を行っている。義歯は、週2回洗浄剤を使用して清潔を保つようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターンを記録し誘導を行い、利用者様一人一人に合ったトイレ誘導を行っています。	
			(外部評価) 利用者の高齢化や重度化が進む中、職員は利用者の排泄パターンを理解し声かけや誘導を適切に行い、自立に向けた支援を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘にならないように水分摂取、下剤の調整を行っています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者さんの体調により入浴の支援をしています。また身体機能の低下されている方は、安全を考え、二人介助にて行っています。	
			(外部評価) 「午後はゆっくりしたい」と利用者から要望があり、入浴は午前中に行われている。長期利用者が多いため、回数や順番等の好みも十分に把握されている。ゆったりと気持ちよく入浴してもらえるよう支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 自由に休息を取れるよう声かけしています。部屋の冷暖房、温度調整しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の副作用や用法は、全員が周知は出来ていない。 薬の説明書は、都度いただいています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人の利用者様に合わせて役割分担をしている。 季節に合った行事を行っています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 月に1回、利用者が外出できるように勤めている。 家族の方と外出ができています方が2名ほどおられます。 (外部評価) 3階と5階が事業所となっているため、職員は意識して外出する機会をつくる努力をしている。受診の帰りに散歩する等、気分転換や生活のリズムを整えるための外出支援が行われている。	利用者の高齢化や重度化で外出の機会が少なくなっている。家族等の協力を依頼する等、利用者の外出の回数を増やす方法を検討し、外出支援がさらに行われるよう期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 所持している利用者様はいない。 お金の管理は、スタッフがしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 暑中お見舞い、年賀状は年2回出している。 電話は、自由にかけられるようになっていますが、かかってくることはありません。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じて壁画飾りをしている。 風呂、トイレに段差があります。 季節の花を生けるようにしています。 カーテン、ブラインドを利用して居心地よくしています (外部評価) 既存のビルを利用者が落ち着いて利用できるよう改装してあり畳スペース等を設けている。大きな窓からは遠くの景色も一望でき開放感がある。事業所内は清潔に保たれ、ゆったりと過ごせる雰囲気づくりがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファには気の合った利用者様同士が座って過ごされている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の写真を貼っています。 なじみの物を持って来てもらっています。 (外部評価) 事業所は高所階にあるため、窓からの眺めがよく四季折々の景色を楽しむことができる。使い慣れたものを持ち込み、居心地のいい居室を作り上げている。また、落ち着いて生活できるようプライバシーの配慮がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりの配置をしている。 トイレまでの各場所に目印をしている。	